



安全願いミラー清掃

岩手県交通安全協会普代分会（太田岩蔵会長）では、夏の交通事故防止県民運動の一環として、7月28日、村内路線約150か所のカーブミラーを清掃しました。

当日は太田会長ら10人が参加しました。国道45号はもちろん、県道、村道と村内のほとんどのカーブミ

ラーを2～3人のグループに分かれ、半日ばかりで磨きました（写真）。

会員らは台を設置した軽トラックや脚立を使って、ミラーの汚れを丁寧に落としていました。太田会長は「これからもこうした活動を通し、地域の安全に貢献していきたいです」と話していました。

稚ウニ放流に歓声

水生生物観察も3小学校で実施

七月二十五、二十六日の両

日、黒崎小学校（佐々木一夫校長、児童十八人）は浄法寺町の太田小学校（五十嵐進校長、児童二十九人）を

招き、交流学習を行いました。当日は天候にも恵まれ、グラウンドゴルフやキヤンプを楽しんだり、予定していたネダリ浜での漁業体験（稚ウニ放流）はさらにうれしいものとなりました。

特に、稚ウニ放流を初体験した太田小学校児童たち。写真には、初めて見る稚ウニを珍しそうに観察していました。「友達も増えたいし小学校最後の思い出になります」と笑顔で



語ってくれた太田小の田口奈都美さん（六年）、黒崎小六年の小川あきさんは「いろいろな人と友達になれて楽しかった」と喜んでいました。

両校は一九九六年から互いに訪問、スポーツなどを通じて交流を深めています。冬には黒崎小学校が太田小学校を訪れ、スキーなどを通じて交流する予定です。

流後、黒崎小児童十六人は鮭供養塔前に場所を移し、普代川河口付近で「川の水生生物観察」を行いました。

川の水生生物観察は、七月二十八日に鳥茂渡小（菅原伊



保校長）で、中学生や父兄ら合わせて三十六人参加、茂市の北ノ枝川を観察しました。普代小（宮古聖明校長、児童百十五人）では、同二十九日、児童十六人が参加し、普代川中流の水生生物観察を行いました。児童らは網を使いながら、カジカやカニ、エビなどを採取し、名前や生態などについて勉強しました（写真）。